

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2018年10月25日木曜日 23:42
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] RE: 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年10月25日発行

◆ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年10月25日発行 ◆

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】
<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 今年度のパネル展が大幸財団の助成対象に採択されました／藤田秀紀【New】
- 【3】 「玉糸製糸実演会の催し」のご案内／天野武弘【New】
- 【4】 中部産遺研会報 第72号 発行のご案内【再送】
- 【5】 2018年度パネル展と講演会 ～モダン都市名古屋の形成～ 開催のご案内【再送】
- 【6】 「名古屋の交通インフラ発展」写真展開催のお知らせ【再送】
- 【7】 「土木学会中部支部80周年記念講演」のご案内（一般の参加も可能です）【再送】
- 【8】 博物館明治村 明治改元150年記念 明治を「体感」できる各種イベントを開催【再送】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第155回定例研究会・パネル展講演会 2018/12/02(日) 13:00～17:00 名古屋市都市センター（予定）
- 第156回定例研究会 2019/01/27(日) 13:00～17:00 とよた市民活動センター（予定）
- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第37回 2019年2月23日または24日（予定）
- 第157回定例研究会・見学会 2019/03/24(日) 13:00～17:00（予定）
- 佐々木享没後5周年記念シンポジウム（後援事業）2019/11/23 13:00～19:00 名古屋大学

【2】 今年度のパネル展が大幸財団の助成対象に採択されました／藤田秀紀【New】

今年度のパネル展が大幸財団の助成対象に採択されました。
（公益財団法人大幸財団のホームページ : <http://www1.s3.starcat.ne.jp/daiko-f/>）

第14回パネル展と講演会「モダン都市名古屋の形成」（パネル展示期間11/27～12/9、講演会12/2pm）が、公益財団法人大幸財団の地域の学術文化振興助成の対象に採択されました。うれしいニュースです。これまでの中部産業遺産研究会の地道な活動、過

去 13 回のパネル展実績の評価と今回の申請にあたり関係者の皆さまに努力していただいたことによるものと思います。パネル展の開催も近くになりました。立派なパネル展、講演会となるよう皆様のご協力をいただき、盛り上げましょう。

【3】「玉糸製糸実演会の催し」のご案内／天野武弘【New】

「玉糸製糸実演会の催し」をご案内します。

主催：玉糸研究会

共催：豊橋市美術博物館・愛知大学中部地方産業研究所

日時：2018 年 10 月 31 日（水）、午前 9 時半～12 時

場所：豊橋市美術博物館多米民俗資料収蔵室（豊橋市多米町滝ノ谷 34-1-1）

（豊橋市電（路面電車）「赤岩口」下車徒歩約 2Km）

講師：成岡久男、靖子ご夫妻（元・浅井製糸所勤務）

趣旨：

豊橋は明治の頃から玉糸（蚕二匹で一つの繭を作った玉繭から挽いた独特な糸）の生産地として知られ、全盛期の昭和初期の頃には全国の約半数ほどを生産していた。しかし平成に入った 1996 年には最後に残った玉糸製糸工場が閉鎖となり、豊橋の街から製糸の音は聞こえなくなった。同時に豊橋では玉糸製糸の技術も途絶えることになった。

こうした豊橋の伝統的技術ともいえる玉糸技術をそのまま途絶えさせるのは忍びないことであり、玉糸技術を後世に伝え残していくことは、技術の伝承の観点からも極めて大事なことと考える。

こうした観点から、今回、豊橋の玉糸製糸技術の再現を行い、その技術の一端を学ぶことに合わせ、製糸技術の記録に残すことを目的に、約 40 年間にわたり豊橋の玉糸製糸工場で繰糸作業に関わっていたお二方を講師に催すことにした。

連絡先：玉糸研究会・天野武弘 amano-ta07@pro.odn.ne.jp

【4】中部産遺研会報 第 72 号 発行のご案内【再送】

中部産遺研会報 第 72 号を発行致しましたので、ご案内致します。

<http://csih.sakura.ne.jp/kaihou.html>

から中部産遺研会報 第 72 号の PDF ファイルのダウンロードをして、内容をご確認頂けますようお願い致します。

【5】2018 年度パネル展と講演会 ～モダン都市名古屋の形成～ 開催のご案内【再送】

2018 年度のパネル展と講演会「モダン都市名古屋の形成」を次の通り開催致します。

■パネル展 2018/11/27（火）～2018/12/9（日） 10:00～17:00 入場無料

12/3（月）は休館日になりますのでご注意ください。

■講演会 2018/12/2（日） 13:00～16:20（受付：12:30～）

■会場 名古屋市都市センター11F まちづくり広場ホール
JR／名鉄 金山駅南口を出て右側のビル（金山南ビル）の 11 階

■講演会内容（2018 年 12 月 2 日 13:00～）

基調講演「モダン都市名古屋の形成」／浅野伸一（会員）

一般講演「市民市長大岩勇夫の都市経営」／真野素行（会員）

特別講演「モダン都市名古屋を彩った建築」／瀬口哲夫（名古屋市立大学名誉教授）

講演会終了後、16:20~16:50に同じ会場にて第148回公開定例研究会を引き続き開催します。

詳細は、

<http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn.html>

を御参照下さい。

また、パネル展のリーフレットは次のリンクからダウンロードできますので御参照下さい。

http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn/panerutenn2018_tirashi_2018.10.21_web.pdf

【6】「名古屋の交通インフラ発展」写真展開催のお知らせ【再送】

土木学会中部支部は、80周年記念として『名古屋の交通インフラの発展』をテーマに、写真展を開催します。

本写真展では、近代の街の姿を映した貴重な記録写真や映像を数多く集めて紹介します。

この写真展には、名古屋レールアーカイブスが全面的に協力しています。

日時 平成30年11月16日(金)~17(土)

場所 名古屋市中心企業振興会館(吹上ホール)9階 展望ホール
(地下鉄桜通線 吹上駅下車)

時間 16日(金)13:00~19:00

17日(土)9:00~14:00(※最終日は、最終入場13:30となります)

(入退出は自由です)

詳細は

https://jsce-chubu.jp/80th_anniversary/181116

をご覧下さい。

【7】「土木学会中部支部80周年記念講演」のご案内(一般の参加も可能です)【New】

上記【4】でご案内しました吹上ホールにて11月17日開催の写真展に引き続き、14:00から、土木学会中部支部80周年記念講演が開催されます。

一般の参加も可能ですが、参加申し込みが必要です。

14:00~14:10 主催者挨拶、来賓挨拶

14:10~14:40 選奨土木遺産認定授与式

14:50~16:40 記念講演1 リニア中央新幹線と期待される効果
東海旅客鉄道株式会社 執行役員 新美憲一

記念講演2 自動運転技術がもたらす地域社会のイノベーション
名古屋大学 教授 森川高行

16:40~16:45 閉会挨拶

詳細と参加申し込みは

<https://jsce-chubu.jp/開催予告/181117>

を御参照下さい。

ポスターはこちらから

<https://jsce-chubu.jp/chubu/wp-content/uploads/2018/11/event-181117.pdf>

【8】博物館明治村 明治改元150周年記念 明治を「体感」できる各種イベントを開催【再送】

博物館明治村（犬山市内山1番地）では、明治改元150年を記念して9月29日（土）から12月16日（日）の期間、明治時代を楽しく学びながら「体感」していただける特別展等を開催します。内容は下記のとおりです

博物館明治村は機械館（鉄道寮新橋工場「機械館」）において一部機械の動態展示に踏み切りました。このことは産業遺産の保存と活用という点から、非常に注目すべきことです。会員の皆様も可能であれば是非、博物館明治村において頂ければと思います。

【明治150年記念特別展 新しき道 ～世界を知り、道を拓く～】

- 期間 : 9月29日（土）～12月16日（日）
- 会場 : 千早赤阪小学校講堂
- 入場料 : 博物館明治村の入村料とは別に200円（中学生以下無料）

幕末から明治にかけて海外へ渡った人々の紹介をはじめ、彼らが欧米の様子を克明に記した手記や画像を通し、近代日本の歩みを紹介します。

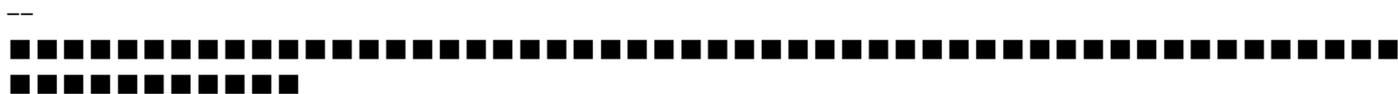
【明治の産業革命を体感！ 機械館展示リニューアル】

- 公開日 : 10月6日（土）～
- 会場 : 鉄道寮新橋工場「機械館」
- 入場料 : 無料

日本の近代化を推し進める原動力となった産業機械の展示をリニューアル。映像を交えたコーナーの新設や、輸入紡績機械の一部を整備して動態展示します。

詳細は
<http://www.meijimura.com/information/news/001617.html>
を御参照下さい。

博物館明治村ホームページ
<http://www.meijimura.com/>



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様にGoogleグループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹
Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールはGoogleグループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。
<https://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。
その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。